

平成29年5月30日

## 平成29年度定時総会 会長挨拶

平成29年度の定時総会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

皆様には、日頃より全建の事業活動に深いご理解とご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。また、本日は、何かとお忙しいところを定時総会にご出席をいただきまして、重ねて御礼申し上げます。

さて、皆様既にご承知のとおり、平成29年春の叙勲におきまして、銭高相談役が旭日重光章を受章され、また、本会副会長の京都府建設業協会 岡野会長が旭日小綬章を、褒章においては、滋賀県建設業協会 本庄会長が黄綬褒章を受章されたのを始め、各道府県建設業協会の要職におられる多くの方々が叙勲、褒章の栄に浴されました。今回のご受章は、私ども建設業界で共に働く者にとりましても、誠に喜ばしいことであり、受章された皆様方には、今後も建設業界の更なる発展のため益々ご活躍されるとともに、後進へのご指導をよろしくお願いするものでございます。

私ども建設業界を取り巻く状況は、建設投資の長期減少傾向に一定の歯止めが掛かった一方で、東京等と地方との地域間格差や大手と中小との企業間格差が、これまで以上に拡大化しているように思います。また、少子高齢化と労働力人口の減少を背景とした建設業の「担い手の確保・育成」や「i-Construction」などの建設現場の生産性向上への取組みは、政府が推し進める「働き方改革」というより大きな流れとも相まって、建設産業全体を取り巻く、一層重要な課題となってきております。

現在、建設産業政策会議においては、10年後を見通した「地域の建設業」の姿が議論されておりますが、今まさに地域建設業は大きな転機を迎えている状況でございます。

私ども全建と致しましては、来年迎える設立70周年に向け、本年度より、私どもの使命を再確認しつつ、地域を支える地域建設業が着実に発展し、将来に亘ってその社会的役割を果たしていくために必要となる諸施策・諸事業について、都道府県建設業協会の皆様方と一丸となり、また建設関係諸団体の皆様とも力を合わせ、果敢に展開して参る所存でございます。

つきましては、本日お集まりの皆様方におかれましては、より一層のご理解とご協力を賜りますよう、重ねてお願いするところでございます。

結びに当たり、各都道府県建設業協会並びに会員企業の皆様の今後益々のご発展と、ご臨席の皆様方のご健勝を心から祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

以 上